

県南ブロックニュース

2021年4月末 組合員数 1,484名（前月比+3名）、利用高 3,390万円、世帯当たり 22,674円

県南ブロック総会が無事行われました



実参加の代議員と運営委員会メンバーです。
15名の代議員は書面での参加でした。

本格的に2021年度の活動が始まります

2021年度は組合員一人一人が主体となった活動を進めていきたいと思っています。どんな些細なことでもいいので声をあげてください。一人の声をもとに組合員どうしが繋がり大きな活動へと繋げて行けます。

人との出会い、物との出会い、一つ一つの出会いを大切に活動へと繋げていきます。取手センターや各地域で直接会える事を楽しみにしています。

コロナ禍でオンラインで繋がる事も出来るようになりました！オンラインも活用しながら進めていきます。運営委員会や各専門委員会もオンラインを併用しながら感染対策を十分に行った上で取手センターに集まっています。誰でも参加することが出来ますので（1回だけでも大丈夫です）参加してみてください。

今年度は地域くらぶとも連携をとり、共に活動出来る機会を作りたいと思います。今ある地域くらぶだけでなく、新たに地域くらぶを作りたい！という思いにも寄り添います！

生活クラブ活動の主体はみなさんなので、どんどん声をあげてください。大きな活動だけでなく、一人一人の活動として、お友達紹介やチラシまきなど個々の活動も増えていて、とても嬉しいです。

些細なことから始めよう ～まずは小さな一歩から～

色々な活動を通してたくさんの人と出会い、繋がっていきたいです。

個人的に繋がりたい人も大歓迎！取手センターに連絡下さい。必ず繋がれます。

困った時にはエッコロを活用したり、

自分の生活にうまく生活クラブを取り入れて楽しく活動していきましょう。

<県南ブロック運営委員会> 連絡は取手センター0297-86-6800まで

🎥 動画見てみました 🎥

YouTube
検索ワードはこれ！

生活クラブ 牛乳 安心

生活クラブの牛乳の品質管理の徹底ぶりを再確認できました！一般の牛乳と何が違うのかも分かります！牛乳びんに「パステライズド牛乳」と書かれていますが、皆さんどういう意味分かりますか？動画では、その意味も分かりやすく説明してくれています。

毎日、牛乳を飲んでいる組合員の方も多いと思います。

牛乳のヒミツを、ぜひ確認してみてください！ 【職員：中島祐】

びんだから
環境にも優しい



<「安心・安全」にこだわった、美味しい牛乳の作り方>

～日本果実工業(株)とのオンライン交流会を終えて～ 温州みかんジュースとみかん缶について学習しました

日本果実工業(株)は山口県にあり、山口工場・萩工場・久賀工場などで、飲料や缶詰の消費材を生産しています。生活クラブと出会ったのは1974年で半世紀近くになるのですね。現在生産している消費材の数は52品目とのこと！みなさんの好きな消費材もあるのでは？今回はそれらの消費材の中から、温州みかんジュースとみかん缶について学習しました。

温州みかんジュース

- ◆市販ではコストを抑えるために濃縮果汁や海外産果汁を使用し、中には香料を入れているのもあるようです。私たちのみかんジュースは、国産100%のストレート果汁のみを使用し、砂糖なども加えていません。市販のストレートジュースもありますが、かなり高価ですよ。
- ◆生活クラブのみかんジュースは機械と手作業で外皮をむいてから、搾汁しています(剥皮搾汁)。そうすると、外皮のオイル分を含まないので、苦みや渋みが少なく飲みやすいジュースができます。また、果汁の劣化が進みにくく風味が落ちにくい、外皮に残る農薬の心配がなくなるなどのメリットもあります。この剥皮搾汁を国内で行っているのは日本果実工業だけ。
- ◆果汁は、95℃で殺菌後、びんに充填。王冠をかぶせた後は転倒させ、ジュースの温度でびん口を30秒殺菌します。転倒殺菌後はシャワーで最終的に36℃まで冷やされます。

みかん缶

- ◆市販では塩酸や苛性ソーダ等を使用して内皮をむいています。使用後の薬品廃棄処理も大変です。私たちのみかん缶は、クエン酸を溶かした水に浸して内皮をむいています。だから少し内皮が残っているのですね。
- ◆缶に果肉を入れ、みかん果汁シラップを充填後に蓋を巻き締め、88℃で11分殺菌後、冷やされます。

- ◆搾って排出されたパルプ(内皮など)は捨てずに、ソースやジャムの加工に使われています。
- ◆希塩酸で皮をむく市販品も作っているのですが、生活クラブのみかん缶は作る時期を決めて、まとめて作っています。
- ◆温州みかんの生産量は、1979年頃から減少し、1996年には最盛期の3分の1になっています。農業従事者の高齢化や担い手不足により、農地面積の減少や農作物の減産となっています。かつては、みかん産地の山口県も、今はみかんを取り寄せているとのこと。温州みかんジュースの生産も大量にできなくなっています。だから、900mlびんの取組みはないのですね。

私たちの温州みかんジュースとみかん缶は、やはり安心ですね！
注文用紙に「1」と書こう！

生活クラブ茨城独自のフードバンク活動

2020年7月、生活クラブ連合会からの新型コロナウイルス禍での緊急支援助成により、協同組合ねっといばらき、明溪日本語学校へ遊佐米を寄付。また、2020年10月、同じく連合会からの緊急支援により、みんなのたまご、子ども食堂まつば、カンガルーポケット、明溪日本語学校へ助成されました。

今年の2月から「茨城独自のフードバンクの仕組み作り」の検討を始め、4月にカンパ金を集め、各ブロック推薦の団体へ食品を寄付することに決まりました。

カンパ金は、茨城単協で合計557,500円となり、げんき米とJA やさとの特別栽培米、計310袋を購入し15団体へ寄付しました。県南ブロックはそのうちの3団体へ寄付をしました。

龍ヶ崎市「NGO 未来の子どもネットワーク」さん

33袋を寄付しました。龍ヶ崎市内の子ども食堂で活用されます。GW前には、子ども食堂に通っている家庭や、コロナで生活が困窮している家庭にお渡ししたとのことでした。



守谷市「もりやっ子食堂」さん

守谷のボランティアグループ「ほっとカモン」が運営している「もりやっ子食堂」に8袋を寄付しました。コロナ禍の今は、くだものや軽食をパックにして、毎月子どもたち80名ほどに配布しているそうです。

4月24日にはいつもの軽食パックに加えてお米3合をもらえて、子どもたちもお母さんたちもみんな、大喜びだったとのことでした。

3団体から感謝されました！
カンパ金ありがとうございました。

取手市「子ども食堂ゆう」さん

4袋を寄付しました。現在、通う子ども達が増えてきました。小規模な子ども食堂なので、全員に提供できるように、週2回活動されています。ボランティア募集しています。



今後予定のイベント

イベントは新型コロナウイルス禍における
ガイドラインに沿って開催します。

日時	イベント名/内容	会場	申込み〆切
6/15 (月) 10:00~ 11:40	なたね油でお馴染みの 米澤製油(株) オンライン生産者交流会 市販品との違いを知ろう!	取手センターからの 参加 OK	6/5 (金)
6/19 (土)	まるごと茨城「田んぼの学校」 草取り&生き物調査 無農薬&無化学肥料の田んぼ	茨城町駒場の げんき米生産体験田	詳細は、後日 配付のチラシ を見てね♪
7/10 (土) 10~16時 7/11 (日) 10~15時	夏の展示即売会&マルシェ 丸エビ倶楽部の野菜販売や 独自生産者の消費材販売や 地域くらぶの出展などを予定しています	取手センター	詳細は、後日 配付のチラシ を見てね♪
7/14 (水) 10:30~ 12:00	せっけんを知ろう! ウェルカムパーティー 先輩組合員が使い方など教えてくれます 2020年4月以降の加入者対象のパーティーですが、 先輩組合員のみなさんもぜひ来てね! せっけんのほかにもいろんなことを教えてあげて♪	取手センター2階	対象者へ後日 配付のチラシ を見てね♪

6月10日は 生活クラブDAY

6月10日に、「eくらぶ登録」や
「eくらぶのクチコミに投稿」すると
温州みかんジュース缶プレゼント♪



県南ブロックLINE お友達登録してね

毎月10日・25日に投稿します